

魔法/上原裕之

w/m : 上原裕之

< 曲紹介 >

人間讃歌を曲にしたくて作りました。何気ない日常の中で、お互いに見えない魔法をかけあっている瞬間があるんだろうなとか想像しながら。鼻唄程度に口ずさむには、丁度良い曲です。

黄金色した坂道を
君と笑いながら歩く
君は待ちきれず鯛焼きを
まるっと頭から頬ばる

いつまでも こんな日々の中
水や風のように
寝ても覚めても夢の中
包まれていたいのに 短くて大切な

言葉に隠された魔法よ もう一度
燃えて 溶けて 混ざって 見つめる
そして 君への想いで あふれる

どこかの家の窓から
ピアノの音が聴こえる
あなたは それに合わせて
軽く指をはじく

夜の公園を通り抜けて
ねえ 今日也会いに来てね
あなたのくれるぬくもりが
続くような気がしてる 誰よりも確かな

愛を あなたに あげたいって思う
だから あなたからの気持ち聞かせてね
泣いて 笑って 夢見て 踊って
魔法で 恋は愛に 変わるよ